

遙かなる大地の国から  
いま、すべての人々に贈る  
愛と涙のメッセージ!

わたしの愛しい娘、秀蘭……  
いま別離のときは哀しいけれど  
さあ、お行きなさい!  
見はるかす万里のあなた  
桜の咲きにおう日本こそ  
おまえの故郷だったのです!



# 桜

— さくら —

程 曉英/許 還山/歐陽儒秋/李 琳/許 賓  
石 羽/江 韻輝/都 本真/高 薇/付 羽中  
監督●譚 相持/韓 小磊/脚本●譚 相持/撮影●曹 作賓  
美術●呂 志昌/王 硯晋/作曲●王 酩<主題歌>東芝EMI



カラー作品/北京映画学院青年映画製作所作品/東宝東和提供/中国映画

輸入●東宝東和・東光徳間/配給●東宝東和

7月26日<土曜>  
夏休みロードショー!

新宿 武蔵野館 (354)  
中央口 5670

●お得な特別観賞券1,100円(一般1,400円/学生1,200円の処)劇場窓口にて発売中!

この夏—大地の国から  
素晴らしい愛と感動が  
やってくる!

いま、遙かなる大地の国から素晴らしい感動の映画「桜」がやってきます。中国と日本のあいだには長い交流があった一方で、不幸な戦争によって両国の無数の人々が悲しみと苦しみをそれぞれ体験しています。この「桜」は、そんな戦禍にさらされた肉親の情愛、長い歳月と国境をこえてなお強く結ばれた母娘の絆、まごころの美しさをうたいあげた感動のドラマです。この夏、真実の愛にあなたははきつとハンカチを握りしめることでしょうか。

新しい中国から  
いま全世界へ  
初の国際進出作品!

新しい中国を象徴する映画「桜」は、初の国際進出作品として、北京の映画人たちが若い情熱を傾けて製作したものです。監督の譚相持、韓小磊はともに北京映画学院出身の新鋭です。また主人公の日本女性、光子に扮する程曉英は舞台で活躍している女優で、この「桜」が映画第1回主演作品です。北京の美しい街並み、万里の長城など雄大な風土のなかでくりひろげられる涙の名作に、いま海外の映画界からも大きな注目を集めています。



# 桜 さくら

カラー作品 ● 北京映画学院青年映画製作所作品  
中国映画 東宝東和提供



さあ、お行きなさい!

桜咲く日本、それが

おまえの故郷……  
中国で終戦を迎えた日本人女性、高崎洋子は1歳にもならない娘の光子を背負ってさまよっていた。だが病苦にせまられ、心を鬼にして光子を中国に残すしかなかった。光子を引きとった中国人の主婦、陳さんは後日のあかしとして銀のブレスレットを洋子に渡した。それから10年、石仏村の陳家に洋子から手紙が届いた。秀蘭と呼ばれる光子にとって、陳家の人々が自分の家族なのだ。しかし、育てる母は光子をやさしくさとし、日本へ送り帰した。

お母さん—  
私があなただの

秀蘭です!

中国で化繊プラントの建設が始まり、光子は技術者として訪中した。彼女は20年も会わない母が気がかりだった。そんな願いも空しく、日本に帰ることになった光子は石仏村を訪れ、そこに母の姿を見た。しかし中国全土を覆った政治の変革を叫ぶ動きのなかで、中国人が外国人と何らかの関係を持つことはタブーだった。お母さん!—  
光子はそう叫びたかったが口にはできなかつた。光子はそつと銀のブレスレットをおき、村を後にした……。

## 泣いた!感動した!いま絶賛の嵐!

国境をこえた新しい感動/美しいまごころが、情愛の強さが、各界で大反響。いま試写会は爽やかな涙で光っています。

- 日本人なら誰もが泣かされてしまう映画です。一度ゆるんだ涙腺はラストまでゆるみっぱなしでした。林 冬子さん(映画評論家)
- 深い海さえも、母と娘の愛の絆を隔てることはできません。素晴らしい感動に心から泣きました。栗原小巻さん(女優)
- 人間愛のあたたかさは、私たち日本人の心の奥深くにさわやかな感動を奏でてとどまらない。菅沼正子さん(映画評論家)
- 東洋的な感性に親しみを感じ、思わず泣いてしまった。荻原久子さん(映画ジャーナリスト)
- 二人の子供の可愛さ…。何度も涙をぬぐわれました。馬場恭子さん(TVキャスター)